

小学校第1学年 道徳科 学習構想案

日時 令和4年11月8日(火) 第5校時
 場所 1年教室
 指導者 教諭 ■■■■■■

1 学習構想

主題名	「みんなで つかうもの」(内容項目C(10)規則の尊重)	
ねらいと教材	(1) ねらい けんじくんのクラスの一員となり、役割演技をすることを通して、みんなで使う物を入任せにしないで、次の人のことを考えてみんなが使う場所や物を大切にしようとする心情を育てる。 (2) 教材名 「そろって いるけど」出典：「小学道徳 いきるちから 1年(日本文教出版)」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	けんじくんのクラスの一員として話し合うことを通して、みんなで使う物や場所を大切にすることについて、多面的・多角的に話し合っている。	みんなで使う物を大切に使うために、自分ができることについて、これまでを振り返りながら考えようとしている。
目指す児童の姿(本時)		
次の人のことを考えてみんなが使う場所や物を進んで大切にしようとする児童。		
主題に迫る学習課題(本時)		本時で働かせる見方・考え方
みんなでつかうものをつたいせつにすること		みんなで使う物の使い方について、多面的・多角的に考え、自分事として考えながら、これからの生活で大切にしていけることを深めていくこと
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
各教科等	道徳科	行事や日常生活
【学級活動】1年生になって ○学校生活のルールを把握し、実践する。 ○集団生活において、周りの友だちのことを考えて行動する。 【生活】がっこう だいすき ○学校探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしようとする。 ○学校での生活は、さまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。 【体育】ボール投げゲーム ○みんなで使った物を、進んで後片付ける。	「どうしてかな」 C(10)規則の尊重 主題名 きまりについて かんがえよう 「そろって いるけど」 (本時) C(10)規則の尊重 主題名 みんなでつかうもの けんじくんのクラスの一員となり 役割演技をすることを通して、みんなで使う物を入任せにしないで、次の人のことを考えてみんなが使う場所や物を大切にしようとする心情を育てる。 「一りん車」 C(10)規則の尊重 主題名 きまりをまもる	【登下校】 ○登下校時は、集合時間を守り、一列で並ぶなどの規則を守る。 【清掃活動】 ○掃除の仕方を覚え、進んで取り組み、準備や後片付けを行う。 【当番活動】 ○自分のすべきことを考え、友だちと協力して、取り組む。 【運動会】 ○運動場の草取りを進んでしたり、練習で使う道具などを後片付けをしている。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所(ねらいや指導内容についての教師の捉え方)
本主題は、第1学年及び第2学年の内容項目C(10)規則の尊重の「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。」を基にしたものである。 普段の生活では、みんなで使う物や場所を進んで大切に、工夫して使おうとする判断力や態度を身に付けることが求められている。1年生の段階では、まだ自己中心性が強く、自分勝手な行動をとることも少なくない。そのため、身の回りの公共物や公共の場所の使い方や過ごし方について理解し、大切にしようとする心情を育てるために、本主題を設定した。

本主題における系統

小学校第1学年
内容項目C(10)(規則の尊重)
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

- ・教材名「どうしてかな」
- ・教材名「そろって いるけど」
- ・教材名「おおひとやま」

小学校第2学年
内容項目C(10)(規則の尊重)
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

- ・教材名「一りん車」
- ・教材名「きまりのない学校」

児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）

■学習するにあたっての学級及び児童の様子

1年生になって半年が経ち、集団での過ごし方や小学校の規則について、少しずつ理解を深めることができるようになってきている。また、自分の物を大切に使うことの大切さも理解することができている。共有の物を使うことのルールは少しずつ理解してきている反面、他人のことを考えて使うということまで考えられていない児童が多い。この教材を通して、次に使う人のことを考えて行動することが、互いに気持ちのよい生活を送ることができることに気付かせたい。

■主題に関する意識の状況

本主題に関わる児童の実態（アンケート21人調査）

質問事項	とても思う	すこし思う	あまり思わない	思わない
① 自分の物を大切に使っていますか。	17	3	1	0
② みんなで使う物を大切に使っていますか。	12	9	0	0
③ みんなで使う物を使うときは、次の人のことを考えて、使っていますか。	14	7	0	0

■考察

調査結果から、自分の物やみんなの物を大切にしている児童がほとんどである。しかし、自分の物より、みんなの物を大切にしていると答えている児童は少ないことが分かる。また、アンケートでは上記のような結果が出ているが、日常生活では次の人のことを考えて使おうという態度はあまり見られない。よって、次の人が使いやすいように使うことが気持ちのよい生活につながることも、教材を通して考えていくことができるようにする。

教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）

本教材は、みんなで使うものへの意識が低かったクラスの児童が、いつもボールを片付けていたけんじくんの行動を知り、みんなで使うものについて考えていくという内容である。今までの自分たちを振り返った「ぼくたち」の姿を通して、共有物を直すときは他人任せにせず、次の人のことを考えて直すと、互いに気持ちよい生活を送ることができるよさを考えることのできる教材である。

授業では、けんじくんのクラスの一員となって話し合いで伝えたいことを考えることで、みんなで使う物を大切にすることを自分事として捉えられるようにする。また、今までの自分自身の生活を見つめ直し、今後の日常生活での過ごし方をもう一度考えていくことができるようにする。

3 指導に当たっての留意点

①自分事として考える導入の工夫【工夫①】

○学校で使う公共物の写真を提示し、みんなで使う物を大切にすることについて考えるきっかけにつなぐ。

②問題意識をもつ教材提示、発問の工夫【工夫②】

○教材名の「そろっているけど」という言葉に着目し、「けど」という言葉が何を示しているのかを考えながら聞くことができるようにする。

③主体的に学び、他者との考えをつなぐ学習活動の工夫【工夫③】

○全体役割演技では、自分自身がけんじくんのクラスの一員になったつもりで話し合いの意見を考えることで、自分事として考えを深めることができるようにする。

○中心発問での考えの理由を問いただすことで、児童の多面的・多角的な考えを引き出すようにする。

④自己を見つめ、道徳的価値の自覚を促す振り返りの工夫【工夫④】

○導入で取り上げた「みんなでつかうもの」を提示した板書を確認することで、自分が大切にしたいものについて具体的に考え、振り返ることができるようにする。

○学校でも様々な人が次に使う人のことを考えて行動していることを紹介することで、これまでの自分の行動を振り返り、今後に生かしていきたいことを考えることができるようにする。

4 本時の学習

(1) ねらい

けんじくんのクラスの一員となり、役割演技をすることを通して、みんなで使う物を人任せにしないで、次の人のことを考えてみんなが使う場所や物を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◎主発問、◆予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 公共物を出し合い、学習課題について知る。</p> <p>○この写真の中で、みんなで使う物はどれだと思いますか。</p> <p>◆トイレ、ボール、学級文庫、ブランコ</p> <p style="text-align: center;">【めあて】 みんなでつかうものを たいせつにするところ</p> <p>○けんじくんのクラスの人には、みんな使うものを大切に使っていますか。</p> <p>○「そろっている“けど”」ってどういうことかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々な公共物に、気付かせるように、写真を提示する。【工夫①】 大切に使っているか問い、題名の「けど」につながるようにする。
展開	30分	<p>2 教材を読み、ぼくの気持ちを軸に考える。</p> <p>(1) この話で感じたことを発表する。</p> <p>◆けんじくんが直してすごいと思いました。</p> <p>(2) ぼくの気持ちを考える。</p> <p>○「はっ」としたぼくは、どんなことに気付きましたか。【A：分析的な発問】</p> <p>◆けんじくんに、まかせてしまっていた。</p> <p>◆けんじくんのおかげで、いつもボールがかごに入っていたんだ。</p> <p>◆自分もしていかないと。</p> <p>◎けんじくんのクラスの1人だとして、話し合いのとき、あなただったらどんなことを発表しますか。【C：自分と重ねる発問】</p> <p>◆自分もけんじくんみたいにしていきたい。</p> <p>◆次に使う人のことを考えていきたい。</p> <p>◆みんなの物や場所を大切にしていきたい。</p> <p>(3) 校長先生から言われたときの、気持ちを考える。</p> <p>○にっこり笑ったのは、なぜだと思いますか。【A：分析的な発問】</p> <p>◆校長先生から言われて嬉しい。</p> <p>◆これからも続けていきたい。</p> <p>◆自分で使ったものは直すことができ、気持ちがいい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表で出た場面に印をつけ、視覚化する。 心に残った場面の感想交流を全体で行う。 挿絵や短冊等を使い、内容把握できるようにする。 「はっ」とするという言葉に着目させ、状況を押さえ直す。 全体役割演技を行い、自分事として考えられるようにする。【工夫③】 理由を尋ねていき、どんな思いでそのような行動をしていきたいのかを、深めさせる。 1対1の話になることがないように、周りの児童にも気持ちなどを尋ねる。【工夫④】 <p style="text-align: center;">【問い返しの例】</p> <p>○なぜ、けんじくんは片付けをしてくれていたの。</p> <p>○自分は使っていないから、片付けなくてもいいのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の人のことを考えて行動することのよさに気付かせる。
終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>○この写真は何をしているときの様子でしょう？</p> <p>◆本を片付けてくれている。</p> <p>○これから、あなたが大切にしていきたい心を考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 龍野小学校で、みんなのために行動している子どもたちの様子の写真を見せることで、自分たちがこれからしていきたいことを見つめ直す手立てとする。【工夫④】 今までのことを振り返りながら、考えさせる。

【評価の視点1】 けんじくんのクラスの一員として話し合うことを通して、みんなで使う物や場所を大切にすることについて、多面的・多角的に話し合っている。 (方法：発言・ノート)

【評価の視点2】 みんなで使う物を大切に使うために、自分にできることについて、これまでを振り返りながら考えようとしている。 (方法：発言・ノート)

【板書計画】

11/8 「そろっているけど」

めあて
みんなでつかうものをたいせつにする ころ

はなしあい

○じぶんでかたづける。
○けんじくんのまねをしたい。
○すすんでする。
○ちゅういする。
○みんなのためにしたい。

ぐちゃぐちゃいやだ
なくなる
きれいにしたい
めいわくをかける
つぎのひとのため
つぎのひともうれしい
きもちがいい
みんなのもの
だいに

つかいやすい

みんなてつかうもの

つくえ
トイレ
てうば
いす
ブランコ
ボール
ほん
すいどう

大切にしている？

・けんじくんに、まかせてしまっていた。
・けんじくんののおかげで、いつもボールがかごに、はいていたんだ。
・じぶんは、していなかったけど、けんじくんはできてえらいな。

はっ

けんじくんがおやすみ

いままでは だれかがしてくれていたけど、これからはじぶんでかたづけたい。
・きもちよく すごせるように つぎのひとの ことを かんがえて していきたい。
・みんなのために スリッパを ならべたい。

【授業振り返りのポイント】※授業終了後に、授業者や参観者が児童の気づきを記録し評価に活かす。

○児童

	評価の視点1	評価の視点2
視点	けんじくんのクラスの一員として話し合うことを通して、みんなで使う物や場所を大切にすることについて、多面的・多角的に話し合っている。	みんなで使う物を大切に使うために、自分のできることにについて、これまでを振り返りながら考えている。
実際の児童の様子		

○授業者【4：できた, 3：まあまあできた, 2：あまりできなかった, 1：できなかった】

振り返りの観点	自己評価	気づき
①自分事として考える導入の工夫	4・3・2・1	
②問題意識をもつ教材提示, 発問の工夫	4・3・2・1	
③主体的に学び, 他者との考えをつなぐ学習活動の工夫	4・3・2・1	
④自己を見つめ, 道徳的価値の自覚を促す振り返りの工夫	4・3・2・1	